

会員並びに御家族様

第 125回史跡巡りのご案内 (枚方市内の史跡巡り “パート11”)

春便りの嬉しい季節となってきました。今年の桜の開花予想は平年並みの、3月の下旬と言われていますが、心和ませてくれるでしょう。

第125回史跡巡り“枚方市内 パート11”は4月の初め、京阪御殿山駅から国道1号線に向かって桜を見ながら、寺社仏閣の由来や歴史などの解説を聴き、歩いて行きたいと思います。

当日は穏かな日の中、1922年に国指定史跡に指定された、牧野車塚古墳跡一帯の公園での桜の下で友人との昼食、会話を楽しむことが出来る事と思います。

ご家族様、又はお友達をお誘い合わせの上、気軽にご参加下さい。お会いできます事を楽しみにしています。

記

1. 日 時 平成24年 4月5日(木曜日) 10時集合 (雨天決行)
 2. 集合場所 京阪御殿山駅 東改札口(ロータリー前)
 3. 史跡巡り 清傳寺 ⇨ 欣求寺 ⇨ 長安寺 ⇨ 栗倉神社
⇨ 牧野車塚古墳 ⇨ 平和の枚方モニュメント ⇨ 車塚公園
⇨ 西福寺 ⇨ 妙教寺 ⇨ 杉ヶ本神社・片鉾郊祀壇跡伝承地
⇨ 山田神社 ⇨ 正覚寺 ⇨ 田口氏墓 ⇨ 法音寺
⇨ 京阪バス停(田ノ口中央停留所) 解散
-
-
- 牧野車塚古墳
- ・枚方市駅行のバスは5分おきにあります。
・駅まで歩かれますと40分程かかります。
・次回はJR学研都市線、津田駅です。
-
- 山田神社
4. 歩行距離 約 5.0 Km
 5. 参加費用 300円 (当日集合場所にて徴収します。)
 6. その他
 - 史跡巡りの解説書は当日に配布します。
 - 昼食は各自ご持参下さい。
 - 次回予定“枚方市内パート12”は6月7日(木)です。
JR学研都市線、津田駅改札口前 10時集合

<史跡解説> 清水良祐() <担当> 鈴木欣也() 後藤 茂()
上山秀夫()

コース:清傳寺⇒欣求寺⇒長安寺⇒粟倉神社⇒牧野車塚古墳⇒平和の枚方モニュメント⇒桜公園⇒西福寺⇒妙教寺⇒
杉ヶ本神社⇒片鉾祀壇跡伝承地⇒山田神社⇒正覚寺⇒田口氏墓⇒法音寺 歩行距離:約4km 参加:47名



上山地区委員挨拶



解説員の清水さん



初参加の高橋さん東條さん高橋さん角穂さん



御殿山駅を出発



牧野車塚古墳



粟倉神社



長安寺



欣求寺



清傳寺



平和の枚方モニュメント



桜公園



桜公園での昼食



山田神社



杉ヶ本神社・片鉾祀壇跡伝承地



妙教寺



西福寺



桜並木の山田神社参道にて

会員のお孫さん
も含め47名の参
加となりました



田ノロバス停解散



法音寺



田口氏墓



正覚寺

第49回友呂岐会

支部のイベント行事で有ります第49回友呂岐会が、好天の中5月24日開催されました。

今回は「平清盛歴史巡り」と題して実施。当日はバス二台で兵庫県に有ります平清盛の史跡・イベント会場に向けて定刻出発。最初の目的地清盛塚に着きました。清盛塚は北条貞時が清盛を弔う為に建立したと伝えられます。

次の目的地、能福寺(兵庫大仏寺)へは徒歩で移動。能福寺は清盛が剃髪し出家した寺院です。又境内に有りました「兵庫大仏」は日本三大大仏の一つで有り全員兵庫県に大仏様が有る事にびっくりしました。



能福寺(兵庫大仏寺)

次の目的地「平清盛歴史史館」では、清盛の歴史を学びました。

当日のメインでも有ります「スカイビュッフェ」での食事会。この「スカイビュッフェ」は地上110mの処に有り「和・中・洋」のバイキングの食事処です。全員が窓際の「絶景かなあ〜」場所で食事を堪能しました。



地上 110m の絶景昼食

食事後は四番目の目的地「平清盛ドラマ館」です。ドラマ館では当時の背景・エピソードを五つのゾーンに区分して展示をされていました。



甲南漬資料館での買物

最終目的地は武庫の郷「甲南漬資料館」見学と試食です。皆様見学案内は程々に試食・買物を堪能。皆様方満足をされる中、定刻に無事帰着出来ました。

第二二五回史跡巡り

第125回史跡巡りは

4月5日(木)京阪御殿山駅前集合し、初参加者4名や子供2名を含め総勢47名の多数の参加者で「枚方市内パート11」へと出発した。コースは約4kmで駅前から旧国道1号線の三栗交差点にでた後、(株)コマツ大阪工場の周辺部を西側から北側・東部へと時計回りに移動した。

神社仏閣や伝承地、墓碑や古墳や平和のモニュメント等の14史跡を巡った。特に平和のモニュメントは昭和14年に大爆発した旧陸軍工場の所で、解体された柱・梁の一部が展示されていたのが印象深かった。又、牧野車塚古墳は大正時代に指定された国の史跡で周辺一帯は公園

化され憩いの場にもなっていた。



清傳寺 菊と桐の家紋

今回訪れた仏閣の内、清傳寺、西福寺、法音寺の三寺院では本堂に上げていただいた上、ご住職より由緒や本堂内の特徴等を詳しくご説明を受け、いつもと少し趣が違う史跡めぐりとなった。



杉ヶ本神社境内

満開の桜の下での散策や昼食を期待して、3月下旬から4月初旬へ開催日を変更して二年。今年は気候変動の影響で、桜風景よりも会話で盛り上がった春の一日でした。前々日の台風並み爆弾低

気圧の影響が残ったが、午後から時雨の予報ははなずけて穏やかな好天での史跡巡りとなった。晴れ男・晴れ女に感謝です。

史跡巡り裏話

久貝正俊公の殿様墓

大坂城は、豊臣から徳川の江戸時代となり、徳川支配となった。江戸の南北町奉行のように大坂では東西町奉行で治められるようになった。東町奉行は、旗本の久貝因幡守正俊が任命され、初代東町奉行となった。退役後河州交野郡を配領された。この地は、荒野であるが河内と山城の国境で、交通の要所であり古来から戦略上の要地であった。

ここに陣屋を立てると決心した久貝正俊は村おこしが必要と思ひ、家来の細谷善兵衛に命じた。13戸の八田広の村民や、近隣の村民を集めて、現在の長尾周辺の荒野山林を開拓し、畑や新田を造った。開墾地は良い土壌で、穀物の増収がありこの丘陵は「福

をもらす岡」とのことから「福岡村」と名付けられたと伝えられている。正俊公は正保5年(1648)2月2日病没した。長男の正世は、亡父を弔い「殿様墓」を建立した。



殿様墓 現・堂山東町8

正世は、父の事業を引き継ぎ村民と共に順調に進んだ。貞享3年(1686)長尾村と改称された。元禄2年(1689)には、瑠璃光寺の東方に陣屋が設置され、久貝家知行支配の中枢となった。開発を担当した細谷善兵衛は、福岡村の代官を努めたが、寛文6年(1666)没した。正世は父の正俊を弔うために慶安2年(1649)「正俊寺」を創建した。細谷善兵衛の墓も、後にここに弔われている。今回から史跡巡り裏話として引続き3班清水良祐さんに連載頂きます。